あなたの豊かな人生経験が、誰かの明日をまもる。

市民後見人という、新しい地域貢献のカタチ

専門知識は必要ありません。
求められているのは、あなたの「寄り添う心」です。

NotebookLM

増え続ける不安

- 認知症高齢者や一人暮らしの増加
- 悪質な訪問販売や詐欺
- 頼れる身寄りがない孤立感

制度だけでは届かない「隙間」

法律・福祉の専門家だけでは、日常的な小さな見守りや、その人らしい生活のサポートまで手が回らないのが現状です。

だからこそ、地域に根ざした「新しい支え手」が必要とされています。

NotebookLM

市民後見人とは「意思決定のフォロワー」です

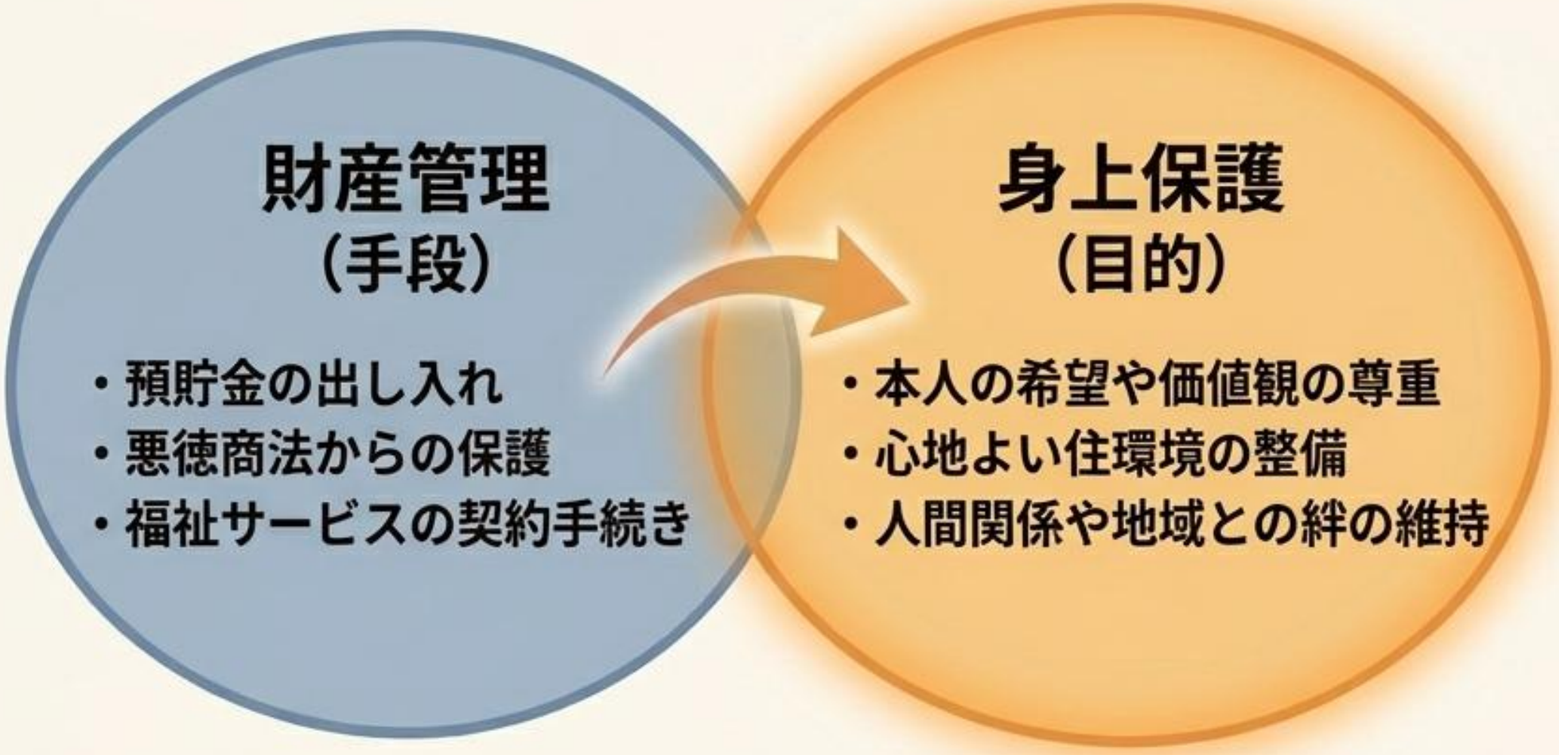
代わりに決めてあげる人

一緒に考え、後押しする人
（支持者・フォロワー）

法律の代理人として振る舞うのではなく、同じ生活者の目線で
「好物が食べたい」「地元のお祭りに参加したい」といった、
ご本人の細やかな願いに寄り添います。

NotebookLM

一番大切な役割は「その人らしい生活」を守ること



財産を管理するのは、単にお金を守るためではありません。
「本人がもっともよい生き方をするのを支えるため」
という原点（身上保護）が、市民後見人の役割です。

NotebookLM

なぜ、専門職でも家族でもなく「あなた」なのか？

	専門職 （弁護士等）	親族・家族	市民後見人 （あなた）
客観性 （冷静な判断）	◎ 高い	△ 感情的・対立しがち	○ しがらみがない
距離感 （日常的な関わり）	△ 少し遠い・事務的	◎ 最も近い	○ 同じ地域の「隣人」
得意なこと （最大の価値）	複雑な法律トラブルの解決	深い愛情と過去の思い出の共有	客観的でありながら、本人の日々の幸せに寄り添える

NotebookLM

あなたは決して、一人で決断することはありません。

「チームによる支援」が基本です。

日常の小さな迷いから法的な難問まで、常に相談できる「応援団」があなたを包み込んでいます。

NotebookLM